

福井工業大学

平成30（2018）年度 卒業生満足度アンケート調査

結果報告

2019年 4月



福井工業大学  
Fukui University of Technology

## 1.調査概要

今回の卒業生満足度調査アンケートの実施概要は以下の通りです。

調査対象：2019年3月卒業生(学部・大学院) 544 名

調査方法：学位記授与式終了後、各学科ごとに分かれた教室で配布・記入

※① 今年度から調査用紙を記述式からマーク方式に変更

※② 2015（平成27）年度の学部・学科再編後に入学した最初の卒業生

回収数：表1の通り

表1 : 学科ごとのアンケート回収数および回収率

	学科名	計		回収率
		卒業生数	回収数	
工学部	電気電子工学科	76	75	98.7%
	機械工学科	98	97	99.0%
	建築土木工学科	72	72	100.0%
	原子力技術応用工学科	17	17	100.0%
環境情報学部	環境・食品科学科	57	56	98.2%
	経営情報学科	94	87	92.6%
	デザイン学科	39	38	97.4%
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	68	67	98.5%
	大学院	23	21	91.3%
	計	544	530	97.4%

2017年度	541	507	93.7%
2016年度	483	467	96.7%

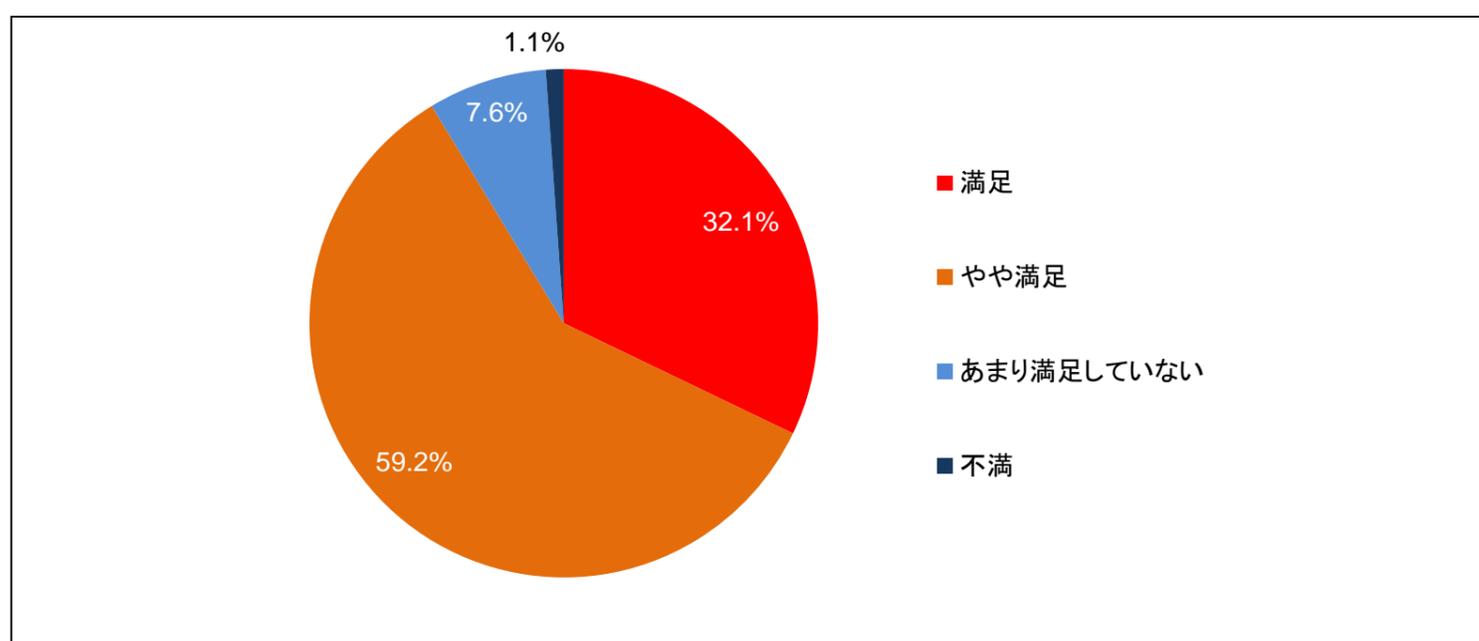
## 2. 調査項目

- 1) 大学における学びの満足度について
- 2) 大学生活における取り組みについて
- 3) 大学の学習環境及び教育機関としてのサービスの評価
- 4) 英語教育プログラム「SPEC」の評価
- 5) 卒業生として知人への本学の進学の勧めについて
- 6) 卒業後の進路に対する満足度
- 7) 大学生活の満足度

### 3. 調査の集計結果

#### 1) 大学における学びの満足度について

満足している・やや満足している**91.3%**  
(2017年実施アンケート 90.9%)  
(2016年実施アンケート 90.8%)

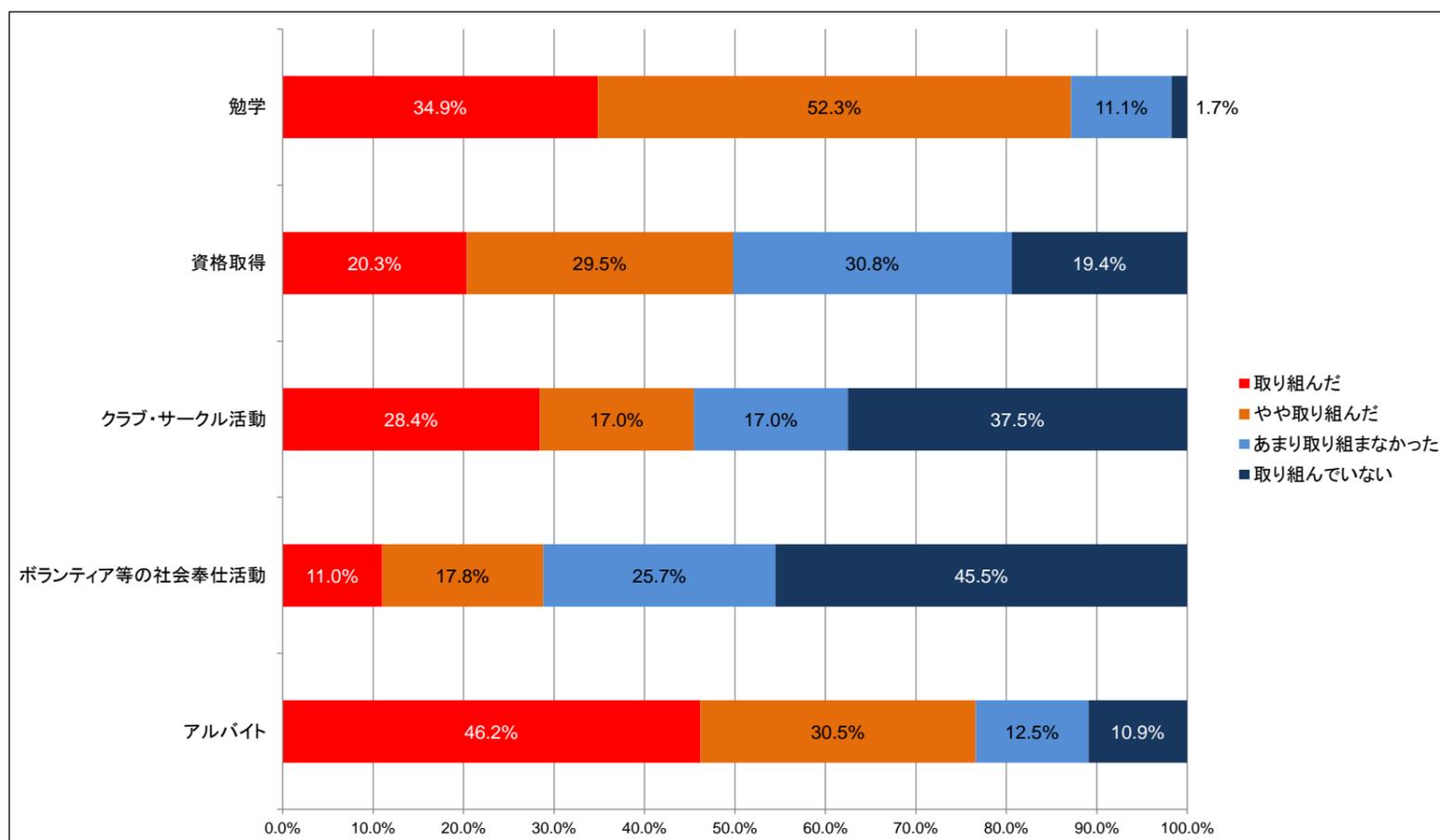


「満足している」(32.1%、昨年比-0.8pt)、「やや満足している」(59.2%、昨年比+1.2pt)を合わせ、

91.3%(昨年比+0.4pt)が、本学での学びについて満足しているという結果となりました。

「あまり満足していない」「不満」という回答(8.7%、昨年比-0.4pt)に対しては、率直な意見・提案として耳を傾け、今後の改善に生かしていく必要があります。

## 2) 大学生活における取り組みについて

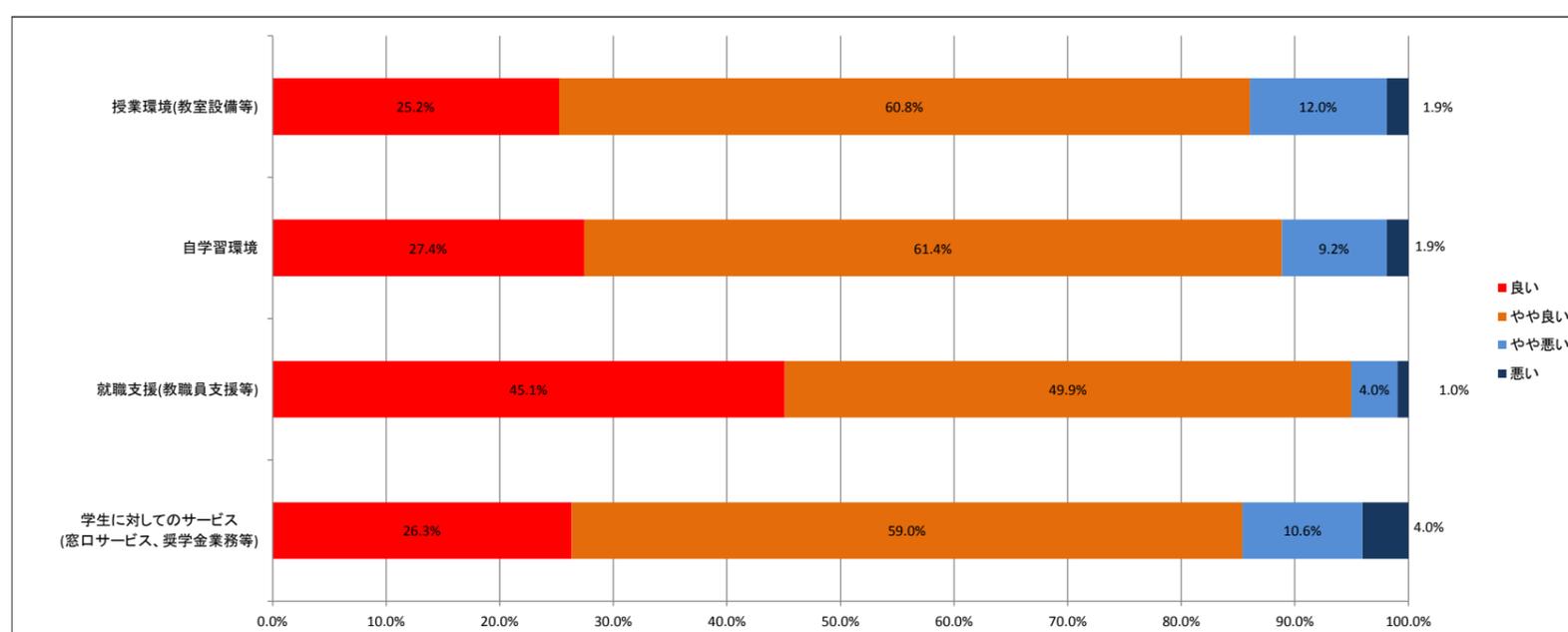


「勉学(87.2%)」と「アルバイト(76.6%)」が上位を占め、直近2年間と同様の結果となりました。

近年、資格取得が41.3%(2016)→49.8%(2018)と伸びており、卒業生のおよそ半数が何らかの資格取得に向けて取り組んだことになります。

このことは、キャリアセンターに対する満足度にも繋がっています。

## 3) 大学の学習環境及び教育機関としてのサービスの評価



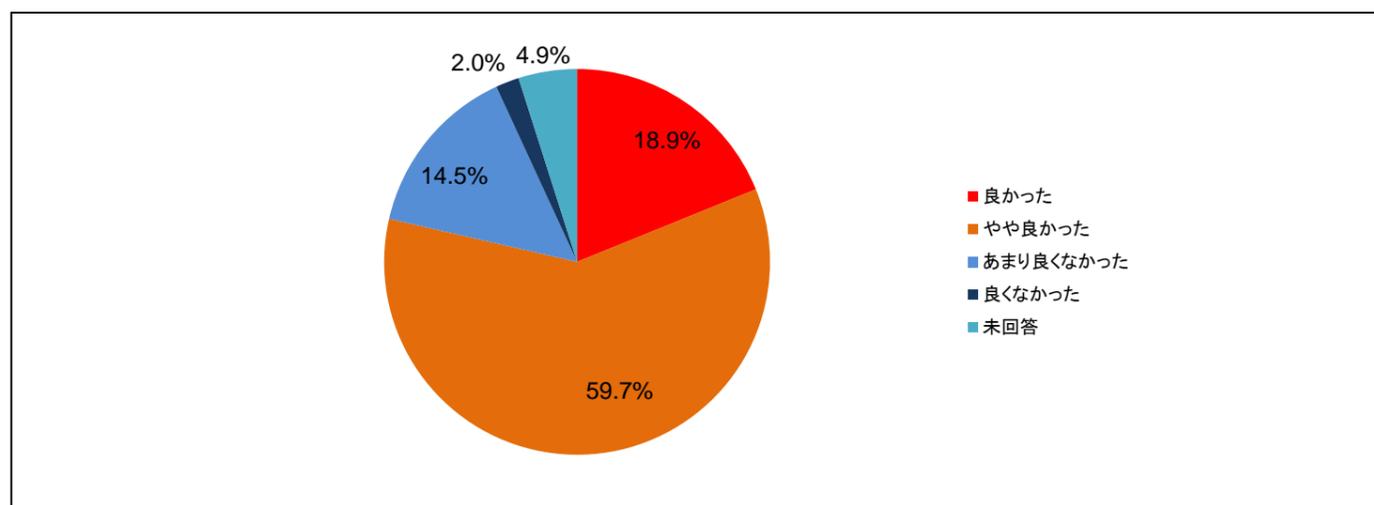
全ての項目において、「良い」「やや良い」の割合が高くなりました。

#### 4) 英語教育プログラム「SPEC(※)」の評価

良かった・やや良かった78.6%

(2017年実施アンケート 72.9%)

(2016年実施アンケート 69.2%)



(※) 英語プログラム(Special Program for English Communication)。

「使える」「伝わる」英語を身に付ける本学独自のプログラム。

「良かった」「やや良かった」の割合が78.6%と2016年度と比較し約10pt上昇しています。

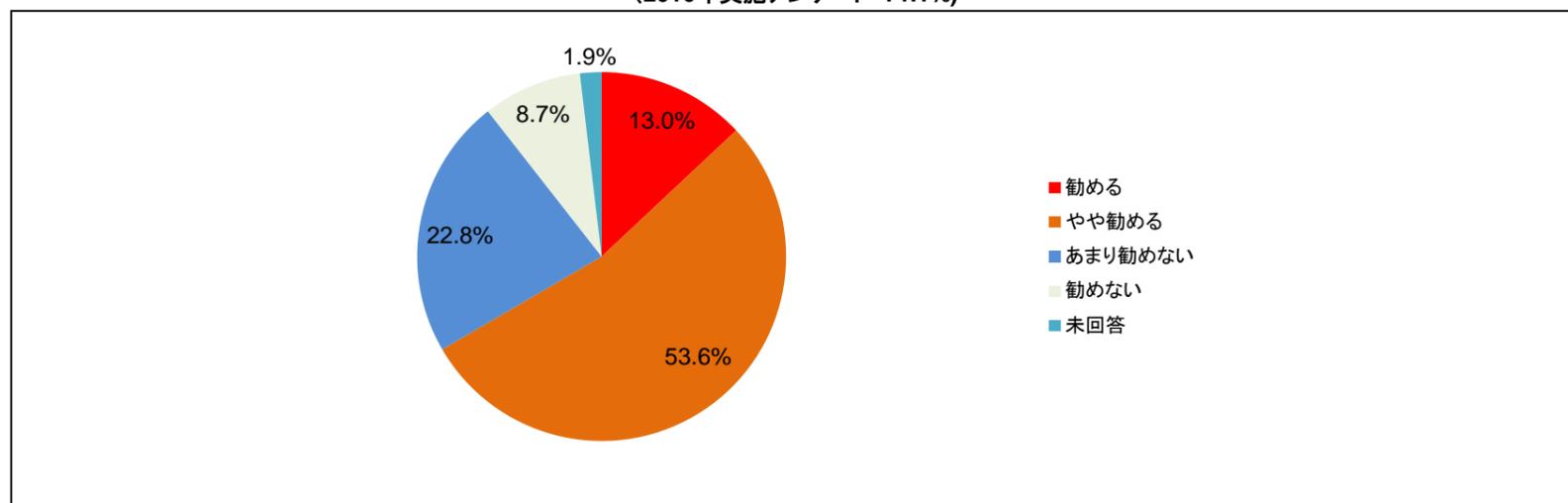
外国人教員数が増加し、各教員が熱心に英語教育を行っていることがこの結果に繋がっているものと考えます。

#### 5) 卒業生として知人への本学の進学の勧めについて

勧めたい・やや勧めたい66.6%

(2017年実施アンケート 68.7%)

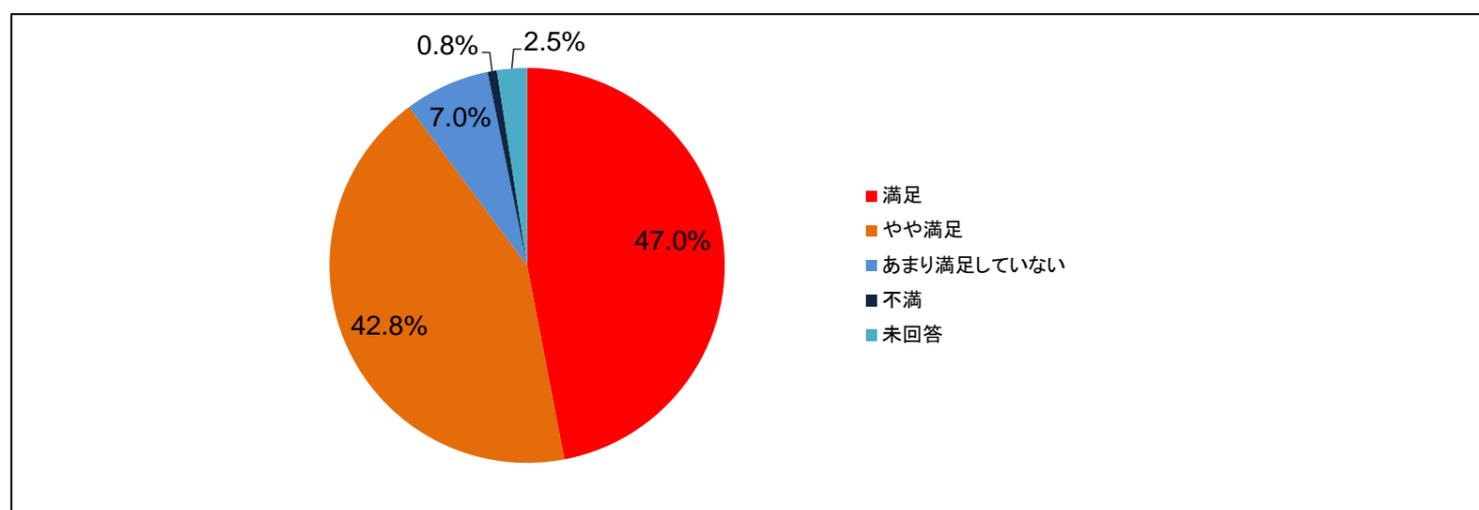
(2016年実施アンケート 71.1%)



勧める理由としては「就職実績(27.4%)」が最も高く、勧めない理由としては「キャンパスの雰囲気(25.3%)」が最も高い割合を示しました。

2年前と比較して、「勧める」「やや勧める」を合わせた割合(66.6%)が-4.5ptとなった結果については、学部学科再編との関連性の有無を慎重に見極めていく必要があります。

## 6) 卒業後の進路に対する満足度

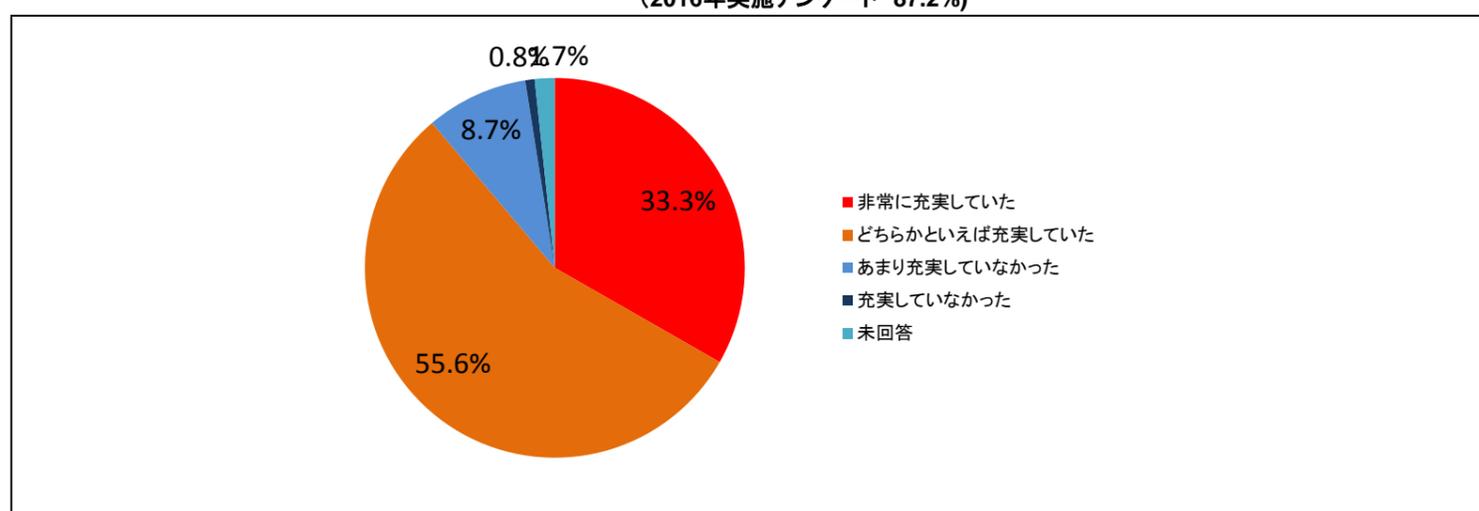


「満足」「やや満足」の合計が89.8%と高くなりました。キャリアセンターを中心に、すべての学科で一人ひとりの学生に合わせて、懇切丁寧な就職支援を行っていることがこのような結果に結びついているものと考えます。

## 7) 大学生活の満足度

① あなたの大学生活は充実していましたか。

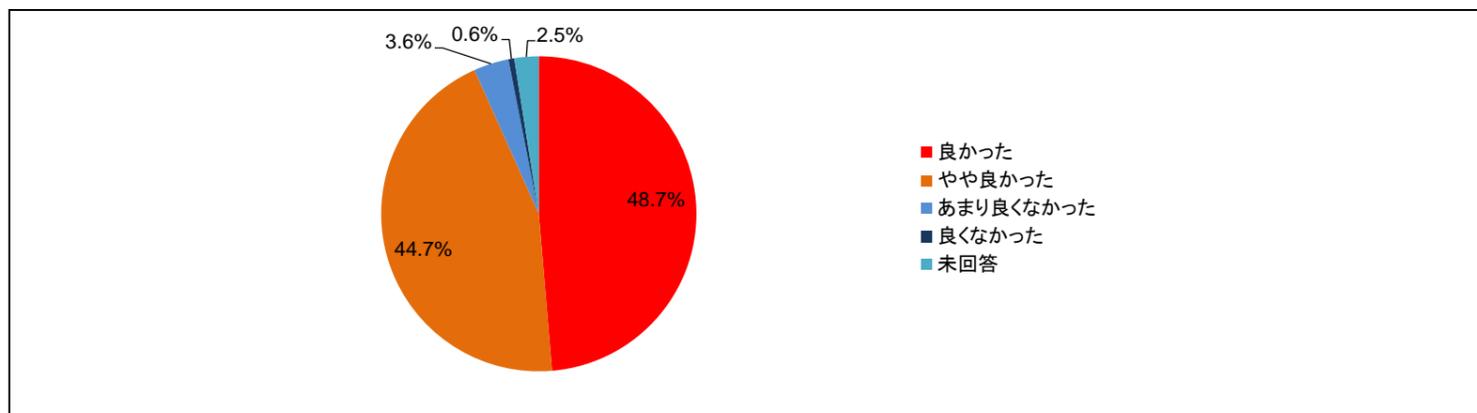
非常に充実していた・どちらかといえば充実していた **88.8%**  
 (2017年実施アンケート 88.4%)  
 (2016年実施アンケート 87.2%)



「非常に充実していた」「どちらかといえば充実していた」の合計が88.8% (昨年比+0.4pt) となり、昨年度と同様高い割合となりました。

② 大学生生活を総合的に考えた場合、本学を卒業して、良かったと感じていますか。

良かった・やや良かった **93.4%**  
(2017年実施アンケート 94.6%)  
(2016年実施アンケート 94.0%)



「良かった」「やや良かった」の合計が93.4%（昨年比－1.2pt）と昨年同様高い割合を占めました。

総合的に見て、卒業生は本学を卒業してよかったと感じていると言えます。

#### 4. 最後に ～ まとめ

昨年度に引き続き、学位記授与式後に卒業生ならびに教職員の方々にご協力いただき、卒業生満足度アンケートを実施しました。過去2年間の調査と同様、高い満足度を示す結果となりました。この結果は高い就職率（2018・19年ともに99.6%）に象徴されるように、学生自身の頑張りを反映したものであることに加え、本学のFD・SD活動がうまく機能していることの証であるといえます。今回、回答のあった卒業生のうち、51.3%（272名）が「福井県」出身でした。母校である本学の発展は、卒業生にとって重大な関心事であり、特に地元で活躍する卒業生（同窓生）の多くの目が常に注がれると言っても過言ではありません。

今回得られた卒業生の貴重な声を大学・学園全体で真摯に受け止め、これからの改善と発展のために生かしていく必要があります。